

## 建設新聞

不動産ファンドフォーラム2008

レーベルを「アカツトブ・レイジング・仙台NW」

## 地方都市における

## 不動産証券化テーマに

250人余が  
参 加 森トラストの吉田副社長などが講演



ク（事務局・仙台市）木正之事務局長）と仙台商工会議所不動産部会との共催による「不動産ファンドフォーラム2008イン仙台」が、19日、仙

などから250人  
余が参加した。  
　フォーラムの第  
一部では、森トラ  
ストの吉田武取締  
役副社長が「仙台  
トラストシティと森トラ  
ストの戦略」と題して、  
今年1月にホテル・事務  
所棟が、6月に住宅棟が  
それぞれ着工した仙台市  
青葉区一番町の仙台トラ  
ストシティの開発コンセ  
プトを解説。この中で吉

台市青葉区の仙台商工会議所で開催された。森トラスト、日本不動産研究所が協賛し、建設新聞社などが後援。不動産・建設関係者や地元財界

講演する吉田副社長

田副社長は「将来、道州制が施行された後も、その中心となるだろう仙台のいつそうの国際化も見据えた上で仙台トラストシティをつくっている。オフィス賃料、ホテル宿泊料、住宅の分譲価格の設定全てがそんなに高くして大丈夫かとよく聞かれるが、国際都市にはこの程度のレベルのものがない方がおかしいと考えている」と語り、「今までないものだからあえて市場調査は行わなかつた。需

る子会社を通したフランチャイジー運営となることを明らかにした。

第2部では、日本不動産研究所証券化プロジェクト室の御旅屋徹室長が、「日本の不動産投資市場の現状分析と未来予測」として、調整局面に入った不動産投資市場を分析した。御旅屋室長は今後の不動産市場について「ファイナンスサイドによる物件選別が続きこれまでのマーケットに残れる不動産と残れない

成された時に新たなステージが生まれるだろう」との見解を示した。また、第3部では「東北不動産証券化協議会」の事務局を代表し、小野寺俊博氏が東北地方の経済活性化を目指し不動産証券化に携わっている地元プレイヤーとその実践事例を紹介。この中で紹介された仙台市での新水族館建設に関する不動産証券化スキーム組成業務をアレンジジャーとして受託しているワシニアイド。

券化の先にある地域活性化こそが真の目的」と、東北では数少ないアセットマネージャーとしての立場から証券化スキーム組成に携わる者としてのポリシーを熱く語った。アセットブレインズの佐々木事務局長は「混迷を極める経済情勢の中にあって、今回200人の募集に対し370人もの方々から申込みをいただいた。会場の関係で全員の皆さんへの参加はならなかつたが、地域の未来

に対する関心の高さを再確認できた。これからもう一度不動産の活性化といふスタンスから地域振興に貢献していく企画を作つていきたい」と今後の方針を語る。

佐々木 事務局長



第1部講師 吉田氏



## 第2部講師 御旅屋氏



第3部講師 小野寺氏



第3部講師 北村氏

